

1.長期成長ビジョン

当社は創業79年の、業務用高級食材の卸売、おせちのOEM製造を主力事業とする食品事業を行う
2029年度にコンソーシアム合算売上高480億円を目指し、事業の中核機能である「保管」機能を強化

会社概要

創業：1946年4月（創業79年）

拠点：大阪府豊中市（本社）、宮城県仙台市（支店）、宮崎県東諸県郡（製造工場）、大阪府大阪市（小売店舗）、東京両国（営業拠点）
その他：健康経営有料法人、優良申告法人

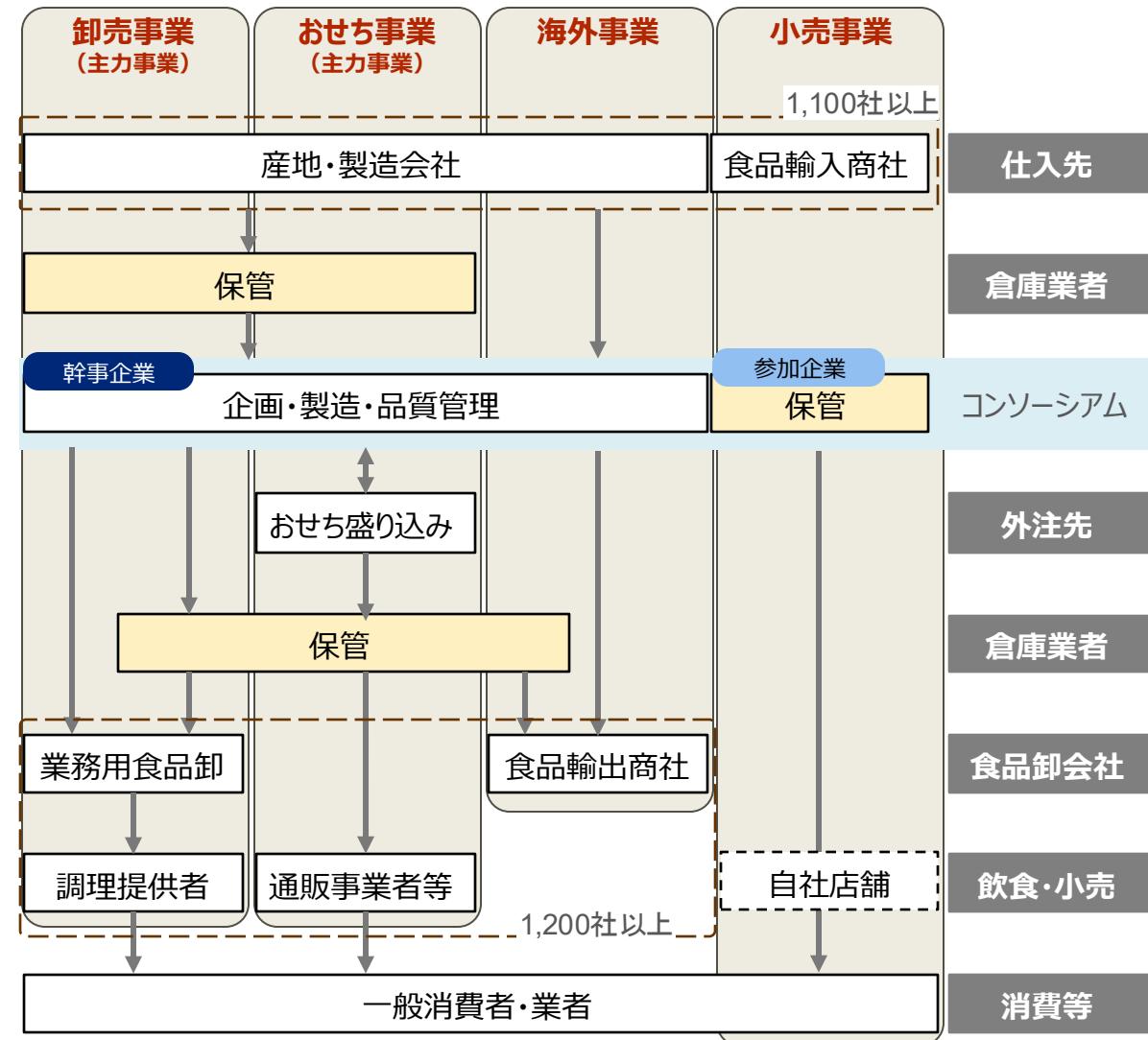
事業概要

- 卸売事業：業務用高級食材をホテル、旅館、料亭、飲食店等へ卸売り。食材は最終調理工程の手前まで加工を施し、**調理現場の省力化**を図ったものが主力商品。**高級食材専門商社として商品点数は5万点超。**
- おせち事業：通販会社、百貨店、有名シェフ・料亭などから**OEM製造**を受託し、完成した冷凍おせちを販売。直近120万食以上売上。**業界首位。**
- 海外事業：国内の輸出商社向けに、高級食材を卸売販売
- 小売事業：主要顧客は周辺の高級料理店。一般消費者も購入可能。自社製品も店頭に並ぶ

業務用高級食材卸売



おせち企画OEM



1.長期成長ビジョン

日本食における「ごちそう」を支える“黒子役”として、食の現場におけるリソース不足を高い水準でサポートする。
そして、地域還元を通じて、魅力ある業界へとけん引するリーディングカンパニーとなる

長期成長ビジョン（目指す姿・ビジネスモデル）

日本食の「ごちそう」を支える盤石な社会インフラ

- 全国の調理現場、お客様に高品質で、かつ安全な商品を安定して提供する
- 日本の食文化を守り、そして発展させていくため、現時点で約5万点を超える商品に加え、**オリジナルブランドの製品開発にも注力**していく。
- 全国的に枯渇する外部冷凍冷蔵倉庫に供給網を委ねるのではなく、自社で必要庫数を確保し、品質および安定供給を担保する
- 工場における自動化、物流における効率化を積極的に図り**、山福で働く人が、より創造性のある仕事に従事できるよう工夫を重ねる。
- 事業拡大で得られる収益は人財に還元**し、業界をけん引するリーディングカンパニーとなる

売上成長目標

(コンソーシアム合算) 2031年5月期: 509億円

- 27/5期から31/5期までの売上高成長率: +13.4%
- 27/5期から31/5期までの売上高増加額: +197億円

(山福単体) 2031年5月期: 503億円

- 27/5期から31/5期までの売上高成長率: +13.2%
- 27/5期から31/5期までの売上高増加額: +201億円

外発的動機

- 国内の冷凍冷蔵倉庫の絶対量の不足、老朽化（冷蔵事業者の約9割は中小企業が占めるが、投資余力がなく、高齢化に伴う廃業によりさらに**供給は逼迫**することが予想される。そして、建て替えが必要な築40年以上の倉庫も全国で3割を超える^{*1}）
- 物流の2024年問題により、**納期遅延、物流コストの上昇**が顕著に経営を圧迫
- 通信販売(ECやカタログ通販、テレビショッピング等)を通じた**食品の購入拡大**（2019年から2021年で2.1倍、2023年も前年比+5.2%^{*2}）
- インバウンド需要の拡大**と国内外食・旅行需要の回復
- 2013年「和食」がユネスコに登録されて以降、コロナ禍による一時的な縮小はあったものの、海外における底堅い**日本食ニーズの高まり**
- (ホテルや旅館、料亭などの) **料理現場における人手不足と高齢化**

内発的動機

- 創業から79年の間、**商品点数は現在5万点以上**に達し、全国の仕入先は1100社以上、販売先も約1200社まで拡大。山福は業務用高級食材の専門商社として現場のプロが求める食材を安全、かつ安定して提供し続ける使命がある
- 販売点数業界1位の「おせち」のOEM事業**は、前年2月から仕入れを開始し、4月から仕込みを始めている。材料段階から最終製品まで、品質を高水準で維持するための**冷凍冷蔵倉庫の保管キャパシティが頭打ち**となっており、食の安全を確保するために、**拡大する需要**に対応しきれていない。

*1: 「コールドストレージの今」, 2024年4月, CBRE

*2 「10年後の冷蔵倉庫市場の展望」, 2023年8月, NRI

2.補助事業の概要

仙台新冷凍冷蔵倉庫の建設及び設備導入費は、総額48.7億円の大規模投資となる
労働生産性は1,587万円/人(年率24.5%成長)、従業員給与は470万円/人(年率6.0%増額)へ

補助事業の背景・目的	<ul style="list-style-type: none"> 物流の2024年問題や冷凍冷蔵倉庫の全国的な不足・老朽化により物流コストや物流効率が悪化。物流の最適解を外部に求めることが困難な状況となっている 受注に対応できる必要な在庫を確保し、自社倉庫をハブとした効率的な物流網を構築するとともに、倉庫内オペレーションも自動化装置により省力化を図ったものとする 	事業費 (補助額) 51億円 (16億円)															
設備投資の内容	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県仙台市宮城野区に地上3階建ての大規模冷凍冷蔵倉庫（延床面積は8,550m²、庫腹は最大11,400トン）を建設（40.3億円） 倉庫内には、移動ラックシステムやAGV、遠距離バーコードスキャナーなどの各種自動化設備を導入と共に、これら自動設備を活かしたオペレーションを実現するためにシステム刷新（導入総額は8.4億円） 材料の調達から食材・製品を輸送に係る現状のサプライチェーンは大阪を起点としており、長距離・非効率な輸送 仙台に大規模拠点を持つことにより、現地周辺での調達量を増やし、関東以北へも短納期が達成可能 移動ラックシステムや各種自動化設備、システム刷新による情報の見える化等の組み合わせにより、倉庫オペレーション全体がDX化され、高級食材の多品種少量へも効率的に対応可能 																
		(仙台新冷凍冷蔵倉庫CGパース)															
目標値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>2027年度 (基準年度)</th><th>2030年度 (基準年度 + 3年後)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>労働生産性 (単位：万円/人)</td><td>822 (山福:660、エクセル:14,035)</td><td>1,587 (山福:1,433、エクセル:15,166) (年平均上昇率+24.5%)</td></tr> <tr> <td>従業員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)</td><td>386 (山福:386 (宮城:521、大阪:450、宮崎:209)、エクセル:n/a)</td><td>470 (山福:470 (宮城:621、大阪:536、宮崎:248)、エクセル:536) (年平均上昇率+6.0%)</td></tr> <tr> <td>役員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)</td><td>1,603 (山福:1,934 (※)、エクセル:1,050 (※)) (※拠点はいずれも大阪のみ)</td><td>1,829 (山福:2,207 (※)、エクセル:1,199(※)) (※拠点はいずれも大阪のみ) (年平均上昇率+4.5%)</td></tr> <tr> <td>補助事業に係る従業員数 (単位：人)</td><td>324 (山福:324 (宮城:45、大阪:179、宮崎100)、エクセル:n/a)</td><td>355 (山福:355 (宮城:60、大阪:195、宮崎:100)、エクセル:1)</td></tr> </tbody> </table>	項目	2027年度 (基準年度)	2030年度 (基準年度 + 3年後)	労働生産性 (単位：万円/人)	822 (山福:660、エクセル:14,035)	1,587 (山福:1,433、エクセル:15,166) (年平均上昇率+24.5%)	従業員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	386 (山福:386 (宮城:521、大阪:450、宮崎:209)、エクセル:n/a)	470 (山福:470 (宮城:621、大阪:536、宮崎:248)、エクセル:536) (年平均上昇率+6.0%)	役員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	1,603 (山福:1,934 (※)、エクセル:1,050 (※)) (※拠点はいずれも大阪のみ)	1,829 (山福:2,207 (※)、エクセル:1,199(※)) (※拠点はいずれも大阪のみ) (年平均上昇率+4.5%)	補助事業に係る従業員数 (単位：人)	324 (山福:324 (宮城:45、大阪:179、宮崎100)、エクセル:n/a)	355 (山福:355 (宮城:60、大阪:195、宮崎:100)、エクセル:1)	
項目	2027年度 (基準年度)	2030年度 (基準年度 + 3年後)															
労働生産性 (単位：万円/人)	822 (山福:660、エクセル:14,035)	1,587 (山福:1,433、エクセル:15,166) (年平均上昇率+24.5%)															
従業員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	386 (山福:386 (宮城:521、大阪:450、宮崎:209)、エクセル:n/a)	470 (山福:470 (宮城:621、大阪:536、宮崎:248)、エクセル:536) (年平均上昇率+6.0%)															
役員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	1,603 (山福:1,934 (※)、エクセル:1,050 (※)) (※拠点はいずれも大阪のみ)	1,829 (山福:2,207 (※)、エクセル:1,199(※)) (※拠点はいずれも大阪のみ) (年平均上昇率+4.5%)															
補助事業に係る従業員数 (単位：人)	324 (山福:324 (宮城:45、大阪:179、宮崎100)、エクセル:n/a)	355 (山福:355 (宮城:60、大阪:195、宮崎:100)、エクセル:1)															